

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-50918

(43) 公開日 平成16年2月19日(2004.2.19)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	FI	テ-マコ-ド [*] (参考)
B62D 65/18		B62D 65/18	Z 3C030
B23P 21/00		B23P 21/00	303A 3D114
B65G 1/137		B23P 21/00	307Z 3F022
		B65G 1/137	A

請求項の数 2 審査請求 未請求 0L (全6頁)

(21) 出願番号	2002-209568	(71) 出願人	000002967 ダイハツ工業株式会社 大阪府池田市ダイハツ町1番1号
(22) 出願日	平成14年7月18日(2002.7.18)	(74) 代理人	100064584 【弁理士】 江原 省吾
		(74) 代理人	100093997 【弁理士】 田中 秀佳
		(74) 代理人	100101616 【弁理士】 白石 吉之
		(74) 代理人	100107423 【弁理士】 城村 邦彦
		(74) 代理人	100120949 【弁理士】 熊野 剛
		(74) 代理人	100121186

最終頁に続く

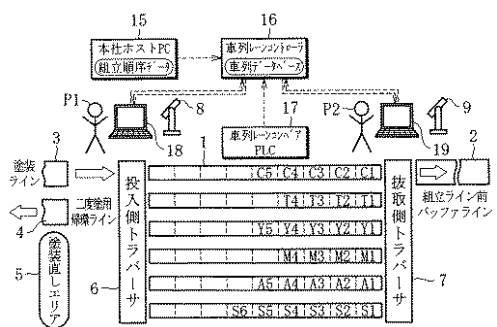
(54) 【発明の名称】 組立待機車列レーンの車両投入・抜取指示システム

(57) 【要約】

【課題】 車列レーンに対する車両の投入・抜取方法を省力化・合理化し、もって組立ラインの組立順序遵守率向上と組立ライン稼働率を可及的に向上させる。

【解決手段】 ホストPC 15から生産車両の順序に関するデータと各組立待機車両の組立工数データを車列レーンコントローラ16に取込む。車列レーンコントローラ16は塗装ライン3の出口側にあるモニタ18に次の車両をどの車列レーン1に投入すべきかを指示する。作業員P1はモニタ18の表示に従って操作盤8を操作して車両を所定の車列レーン1に投入する。一方、車列レーンコントローラ16はバッファライン2の入口にあるモニタ19にどの車列レーン1の車両をバッファライン2に抜出すかを指示する。この際、下流の組立ラインの稼働率が可及的に平準化する車両の順序となるよう車列レーンコントローラ16により抜出車両が特定される。

【選択図】 図1



(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-98738

(43) 公開日 平成16年4月2日(2004.4.2)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	FI	テームト [*] (参考)
B62D 65/00		B62D 65/00	Q 3D114
B23K 1/00		B23K 1/00	U
B23K 3/00		B23K 3/00	310P

請求項の数 7 審査請求 未請求 0L (全9頁)

(21) 出願番号	2002-259952	(71) 出願人	000003908 日産ディーゼル工業株式会社 埼玉県上尾市大字壺丁目1番地
(22) 出願日	平成14年9月5日(2002.9.5)	(74) 代理人	100071696 【弁理士】高橋 敏忠
		(74) 代理人	100090000 【弁理士】高橋 敏邦
		(72) 発明者	齋 藤 正 浩 埼玉県上尾市大字壺丁目一番地 日産ディーゼル工業株式会社内
		(72) 発明者	遠 藤 政 志 埼玉県上尾市大字壺丁目一番地 日産ディーゼル工業株式会社内
		Fターム(参考)	3D114 AA17 AA18 BA01 CA05 DA01

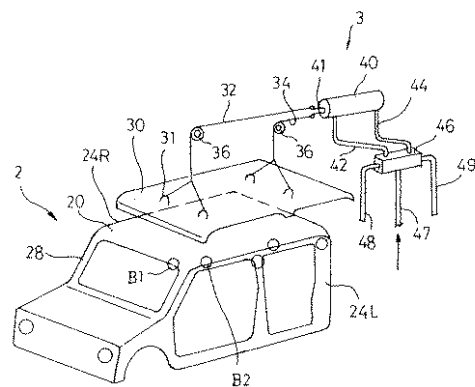
(54) 【発明の名称】 車体組立ラインのろう付け方法及び装置

(57) 【要約】

【課題】 車体をろう付けして組み立てる際に発生、飛散するスパッタが車体に付着することを防止する車体組立ラインのろう付け方法及び装置の提供。

【解決手段】 車体(2)を組立ラインに載置する車体載置工程と、該車体(2)を所定のろう付け作業を実施するろう付け位置(PS)に定置する車体定位置工程と、該車体(2)を組立ライン(8)に安定させるための係合をする係合工程と、その係合完了を確認して前記車体(2)のルーフ板(20)上部を覆うカバー(30)を上方からルーフ板(20)上部に下降させるカバー(30)下降工程と、車体(2)へのろう付けを実施するろう付け工程と、ろう付け完了後にろう付け完了信号を発信するろう付け完了信号発信工程と、そのろう付け完了信号発信後にカバー(30)を上昇させるカバー(30)上昇工程とを含んでいる。

【選択図】 図1



(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-122960

(43) 公開日 平成16年4月22日(2004.4.22)

(51) Int.Cl.⁷
B60J 5/00

識別記号

FI

テ-マ-コ-ト* (参考)

B60J 5/00

Z

B60J 5/00

M

請求項の数 7 審査請求 未請求 0L (全20頁)

(21) 出願番号 2002-290633
(22) 出願日 平成14年10月3日(2002.10.3)

(71) 出願人 000003137
マツダ株式会社
広島県安芸郡府中町新地3番1号
(74) 代理人 100067747
【弁理士】 永田 良昭
(74) 代理人 100121603
【弁理士】 永田 元昭
(72) 発明者 守山 幸宏
広島県安芸郡府中町新地3番1号 マツダ
株式会社内

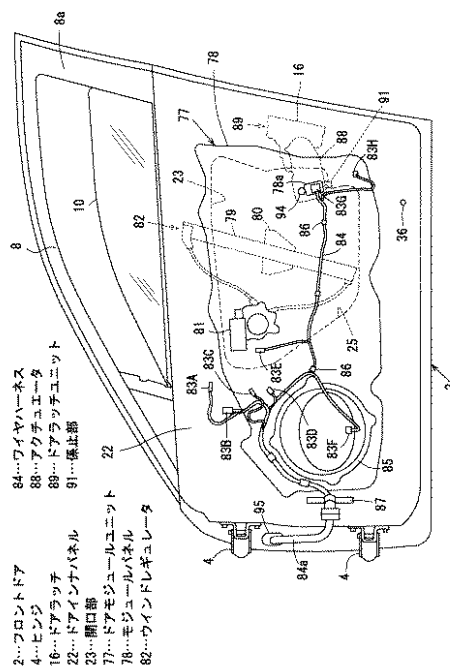
(54) 【発明の名称】 車両のサイドドア構造およびその組立て方法

(57) 【要約】

【課題】 ドアモジュール取付け用の開口にドアモジュールユニットと結合される他のドア機能部品を仮預けする係止部を設けることで、他のドア機能部品とドアモジュールユニットの本体とを同時に組付けることが難しいドア形態において、ドアの組付け性を確保することができる車両のサイドドア構造の提供を目的とする。

【解決手段】 車両の側部開口を開閉する車両のサイドドア構造であって、上記サイドドア 2 はドアアウトパネルとドアインナパネル 22 とが接合されて構成され、上記ドアインナパネル 22 にはドア機能部品 82, 84 が一体的にモジュール化されたドアモジュールユニット 77 を取付けるためのドアモジュール取付け用の開口 23 が設けられ、上記ドアモジュール取付け用の開口 23 にはドアモジュールユニット 77 と結合される他のドア機能部品 89 を仮預けする係止部 91 が設けられたことを特徴とする。

【選択図】 図 14



(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-291909

(43) 公開日 平成16年10月21日(2004.10.21)

(51) Int.Cl.⁷
B62D 25/06

識別記号

F1
B62D 25/06

Z

テームト^{*}(参考)
3D003

請求項の数 5 審査請求 未請求 0L (全12頁)

(21) 出願番号	2003-089955	(71) 出願人	000003908 日産ディーゼル工業株式会社 埼玉県上尾市大字壱丁目1番地
(22) 出願日	平成15年3月28日(2003.3.28)	(74) 代理人	100071696 【弁理士】高橋 敏忠
		(74) 代理人	100090000 【弁理士】高橋 敏邦
		(72) 発明者	中 澤 勇 埼玉県上尾市大字壱丁目一番地 日産 ディーゼル工業株式会社内
		(72) 発明者	渡 辺 修 埼玉県上尾市大字壱丁目一番地 日産 ディーゼル工業株式会社内 最終頁に続く

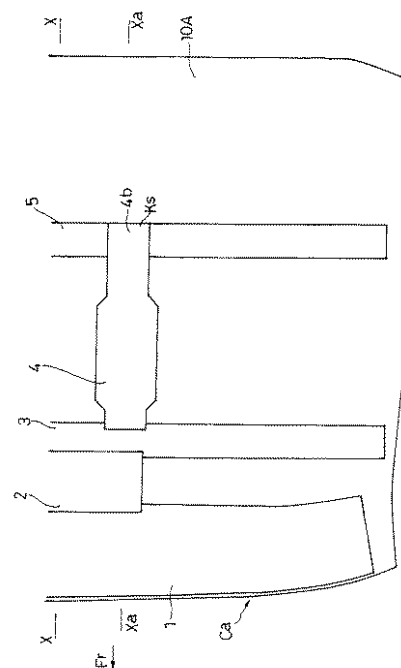
(54) 【発明の名称】 車両の屋根の構造及び組立方法

(57) 【要約】

【課題】 ルーフパネルと補強材のルーフメンバーとの溶接精度の向上を図った車両の屋根の構造及び組立方法の提供。

【解決手段】 屋根前方部材(1)と第1のルーフメンバー(3)とを結合する第1のブラケット(2)と、第1のルーフメンバー(3)と第2のルーフメンバー(5)とを結合する第2のブラケット(4)とを有し、第2のブラケット(4)の端部(4b)と第2のルーフメンバー(5)には、第2のブラケット(4)の当該端部(4b)を第2のルーフメンバー(5)に係止(仮止め)し、以って第2のブラケット(4)と第2のルーフメンバー(5)との相対位置を維持するための仮止め機構(Ks)が設けられている。

【選択図】 図1



(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-299588

(43) 公開日 平成16年10月28日(2004.10.28)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	FI		テマコード [*] (参考)
B62D 25/08		B62D 25/08	D	3D003
// B60K 11/04		B60K 11/04	H	3D038

請求項の数 10 審査請求 未請求 0L (全10頁)

(21) 出願番号	2003-096058	(71) 出願人	000003137 マツダ株式会社 広島県安芸郡府中町新地3番1号
(22) 出願日	平成15年3月31日(2003.3.31)	(74) 代理人	100076428 【弁理士】 大塚 康徳
		(74) 代理人	100112508 【弁理士】 高柳 司郎
		(74) 代理人	100115071 【弁理士】 大塚 康弘
		(74) 代理人	100116894 【弁理士】 木村 秀二
		(72) 発明者	渡 忠義 広島県安芸郡府中町新地3番1号 マツダ株式会社内
		Fターム(参考)	

(54) 【発明の名称】 車両のフロント車体構造及び車両の組立方法

(57) 【要約】

【課題】 車体の剛性が劣ることなく、ラジエータのための開口面積をより大きく確保し得る車両のフロント車体構造を提供すること。

【解決手段】 車幅方向に延設され、ラジエータを支持するための上部サポート部材10及び下部サポート部材20を含むフロントエンドモジュール枠Aをフロントサイドフレーム100間に配設した車両のフロント車体構造であって、記下部サポート部材20をクロスメンバ21と一体に構成し、クロスメンバ21の両端部を、フロントサイドフレーム100に設けた連結ブラケット50にそれぞれ接続したことを特徴とする。

【選択図】 図1

